

最前線レポート

平成20年度教員顕彰にて最優秀教員に選ばれた、生物応用化学科 西井 靖博 講師にお話を伺います。

西井講師が力を入れる取り組みの一つに「出前授業」が挙げられます。地域の小中学校等へ出向き、本校の学生を主体として授業を行う「出前授業」について、お話を伺います。

出前授業



専門分野:化学工学
分離工学
担当科目:情報リテラシー
コンピュータサイエンス
プレゼンテーション技法
生物応用化学実験4
応用化学実験2
化学工学3

◆出前授業とは？

地域の小学校、中学校や公民館などへ出向いて、先方が希望したテーマについて授業や実験を行うものです。最近理科離れが叫ばれていますが、出前授業を通じてどんどん理科好きの子供たちが増えていったらいいと思います。

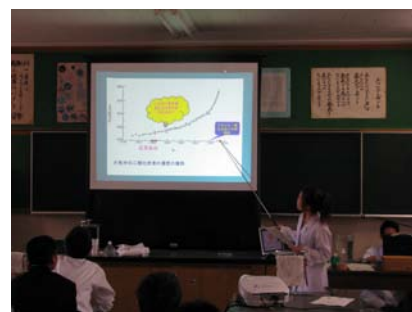
◆出前授業を始めたきっかけは？

もともと現代 GPC「地域連携プロジェクト型ものづくり活動」内の活動の一環として始め、化学科グループリーダーとして精力的に活動を行い、件数を増やしてきました。昨年度は14件、今年度は予定も入れて19件の出前授業を行っています。



◆出前授業を行う際に工夫する点は？

第一に考えているのは、参加してくれた小中学生が純粋に理科の楽しさを感じてもらえるようにということです。そのために写真や動画を使ってわかりやすい説明を考えたり、実験結果がわかりやすいように実験条件を試行錯誤したりしています。また小中学生一人一人が実験したり考えたりできる内容になるように実験方法を工夫しています。生物応用化学科では、学生主体型の出前授業を推進しており、学生が先生となって講師をすることによって参加した小中学生にとってより親しみのある出前授業になっていると思います。



◆西井先生の目指す「出前授業」とは？

出前授業が地域の小中学生やその保護者、教員の方々と新居浜高専との交流の場となればと思っています。そういう意識をもって活動することにより、地域社会にとって新居浜高専がなくてはならない存在になっていけばと思います。また前述のとおり学生が主体となって授業を作り上げ、当日は先生となってプレゼンをしています。これは学生に非常に大きな教育効果があると思います。将来的には学生全員がなんらかの形で出前授業に参加する体制を作り上げたいです。

◆今後の課題・意気込みを聞かせてください。

アンケート結果から、実施した小中学校から好評をいただいております。また出前授業について微力ながら努力してきたことが評価され、本年度の最優秀教員に選ばれたのではと思います。さらに出前授業に参加した学生から「先生、楽しかった！！もう一度出前授業したい」と学生からもパワーをもらっています。それらを原動力として新しいテーマ作り、教材開発など学生と一緒に考えていこうと考えています。新居浜高専の出前授業のおかげで理科が大好きになったという子供達も、この東予地区に増えていくことを願っています。

▲▽新居浜高専 小中学生向け出前サイエンス講座▽▲

新居浜高専では小中学生の皆さん向けに、楽しくて分かりやすい出前講座を開設しています。さまざまな講座を用意していますので、是非ご利用ください。

<詳細について>

詳細は <http://www.niihama-nct.ac.jp/demae> よりご覧ください。

<申込方法>

HPよりお申込みください。→ <http://www.niihama-nct.ac.jp/demae>

<担当>

新居浜高専総務課総務企画係

TEL:0897-37-7701 FAX:0897-37-7842

E-mail:tiren-c@off.niihama-nct.ac.jp

新居浜高専高度技術教育研究センター

TEL:0897-37-7851

E-mail:kojo@sci.niihama-nct.ac.jp

